



第112号

令和7年(2025年)

8月20日

発行責任 福岡県古賀市議会

第2回定例会 主な審議・補正予算・臨時会 —— 2～3p

賛否一覧・一部事務組合 —— 4p

ここが聞きたい!一般質問 —— 5～12p

常任委員会報告 —— 13～15p

調査、研究し市政につなぐ!政務活動費 —— 差し込み



古賀市議会



写真: 花鶴が浜公園で開催された「ハマボウとランタン、星空観察の夕べ」

33号
議案

古賀市学校給食費条例の制定

教職員の負担軽減、給食費管理における透明性の向上、徴収・管理業務の効率化、保護者の利便性向上などをめざし、学校給食費を市の歳入とする公会計化を行い、学校が担っている徴収・管理に関する事務を学校給食センターが担うこととするもの。

付託▷ 文教厚生委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決主な
審議第2回
定例会
(6月10日～25日)34号
議案

古賀市税条例の一部改正

公示送達における、インターネットを用いる方法についての改正と、それに伴う文言整理。
・特定親族特別控除の創設に伴う規定の整備
・加熱式たばこに係るたばこ税の課税標準の特例規定の新設

付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決35号
議案

古賀市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正

流通業務の総合化および効率化の促進に関する法律および貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正するもの。

付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決38号
議案

工事請負契約の締結（古賀東中学校体育館等大規模改造工事）

1988（昭和63）年築の古賀東中学校の体育館において、「学校施設長寿命化計画」に基づき、大規模改造工事を行うことにより、施設の耐久性・安全性を確保するとともに、外構を整備し、学習環境の向上を図るもの。



付託▷ 文教厚生委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決39号
議案

財産の取得

古賀市内小学校3校（小野小学校・花鶴小学校・千鳥小学校）の校舎LED照明導入に伴い、指名競争入札により取得の相手方を定め、取得するもの。



付託▷ 文教厚生委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決40号
議案41号
議案

古賀市固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員会委員のうち2人が、令和7年7月10日をもって任期満了となることに伴い、同委員の選任について市議会の同意を求めるもの。

吉田 稔徳 氏 佐々木 哲 氏

本会議
賛成全員
同意

36号
議案

令和7年度古賀市一般会計補正予算（第2号）

予算の総額に歳入歳出それぞれ 1億8,989万7千円を追加

補正予算
(6月18日)第2回
定例会

コミュニティ活動推進事業費

まちづくり推進課
110万円

コミュニティ組織育成事業補助金

- 問 申請から採択までの経緯と、スケジュールは。
- 答 地域のイベント等で使用する音響設備の購入費の一部を補助するもの。補正予算成立後速やかに交付決定を行い、事業完了後に提出される実績報告書を確認し、補助金を交付する。

防災力強化事業費

総務課
513万7千円

全国瞬時警報システム更新委託料

- 問 新全国瞬時警報システム（Jアラート）の受信機を更新する理由は。
- 答 現在の受信機は老朽化に伴い、故障時のサポートが不可能となることから、令和7年度末までに、今後の運用変更に対応可能な新型受信機に更新するもの。

給食センター管理運営事業費
賄材料費学校給食センター
1億8,309万2千円

- 問 積算内訳、徴収額と同額である理由は。
- 答 9月分から3月分の購入予定の給食材料費を積算している。
徴収した給食費全額を賄材料費に充当する予定としているため。

本会議
賛成全員
可決37号
議案

令和7年度古賀市水道事業会計補正予算（第1号）

北九州市水道用水供給事業受水費

上下水道課 7,176万4千円

- 問 浄水場の施設廃止までの工程は。
- 答 管渠更新工事が完了する令和8年度末までは、古賀浄水場を経由しての受水となる。
浄水場跡地の活用に関しては、今後も引き続き検討を進めていく。

本会議
賛成全員
可決32号
議案

令和7年度古賀市一般会計補正予算（第1号）

予算の総額に歳入歳出それぞれ 2,520万7千円を追加

主な審議

第2回
臨時会
(5月22日)

社会教育関連施設管理事業費

生涯学習推進課
420万7千円

- ・ 社会実験公演委託料等の追加
- ・ 社会実験として九州交響楽団の公演会を開催

公共施設等管理事業費

管財課
2,100万円

- ・ 議会棟改修工事監理委託料の追加
- ・ 議会棟改修工事費の増

本会議
賛成全員
可決

令和7年第2回臨時会 議案の議員別賛否一覧

会期: 令和7年5月22日(木)

号 数	議案名	結果	今井公一	結城弘明	中野敦史	古賀誠視	森真希	秋吉智紀	村松謙二	福岡トビオ	平木尚子	松島岩太	伊藤康義	大賀文子	大隈慶太郎	奴間健司	秋山隆哉	井之上豊	紙谷由香	森本義征	渡孝二
30	専決処分（古賀市税条例の一部改正）	承認	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	専決処分（古賀市国民健康保険税条例の一部改正）	承認	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	令和7年度古賀市一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 議員名は左から議席番号順

令和7年第2回定例会 議案の議員別賛否一覧

会期: 令和7年6月10日(火)～6月25日(水)

号 数	議案名	結果	今井公一	結城弘明	中野敦史	古賀誠視	森真希	秋吉智紀	村松謙二	福岡トビオ	平木尚子	松島岩太	伊藤康義	大賀文子	大隈慶太郎	奴間健司	秋山隆哉	井之上豊	紙谷由香	森本義征	渡孝二
33	古賀市学校給食費条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	古賀市税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	古賀市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	令和7年度古賀市一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	令和7年度古賀市水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	工事請負契約の締結（古賀東中学校体育館等大規模改造工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	財産の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	古賀市固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	古賀市固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	専決処分（道路管理業務遂行上の過失に係る損害賠償）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	工事請負契約の締結（市役所第一庁舎4階議会棟改修工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 議員名は左から議席番号順

賛否一覧・一部事務組合



また、組合教育委員会教育委員に福津市教育委員会教育長の薄俊哉氏が選任されました。

入学選考料を4000円から2100円へ改定する古賀高等学校組合立高等学校授業料等徴収条例の一部を改正する条例の制定が上程され、賛成全員で可決。

古賀高等学校組合立議会
令和7年5月9日
第1回臨時会開催

一部事務組合議会報告

議長 渡孝二



玄界環境組合議会
令和7年3月6日
第1回臨時会開催

福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少および福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更、玄界環境組合議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例の制定が上程され、賛成全員で可決。

ここが聞きたい！

一

般

質

問

古賀市の上下水道管・路面下空洞調査は	井之上 豊
市内小中学校の児童・生徒の昼休みが 30 分であることについて	大隈慶太郎
①市民に親しまれ利用される公園・施設の整備を ② 90 年、100 年、未来につなぐ平和行政を	森 真希
①男女平等の社会をめざそう ②市民の主権者意識を高め、投票率を上げるために	大賀 文子
①これから 10 年先の古賀市を見据えて ②ひとり親家庭への支援強化を求める	紙谷 由香
市民が暮らしやすい古賀市の実現を	古賀 誠視
中小企業・個人事業主への経済対策および支援策の底上げ	伊藤 康義
地域防災と危機管理の現状とこれから	秋山 隆哉
消防団から自治会への「消防協力金」を依頼する行為について	村松 謙二
①市民が喜ぶ体育館、公園に ②コロナ禍に匹敵する物価高騰対策で市民のいのち・暮らし・農業支援を ③住民の生活環境を守り、地域の安心・安全が確保された西鉄宮地岳線跡地利用を	今井 公一
①带状疱疹ワクチンの補助拡大を ②公共交通の今後の考えは ③みんなでつながる地域づくりの推進について	平木 尚子
もっともっと少子化対策に力を ～政治、行政の責任を果たそう～	奴間 健司
①こが pay の拡充を求む ②ふるさと納税の積極的な活用を	秋吉 智紀
循環型社会の構築に向けた古賀市の取り組みは	中野 敦史

一般質問は、議員が市政全般について現状や方針を問うものです。
一人 30 分（答弁を含まず）の持ち時間で質問します。
掲載している内容は、質問した議員自身の責任でまとめたものです。
掲載は通告届出順です。

中継・録画は、
インターネットで
視聴できます





井之上 豊
(公明党)

古賀市の上下水道管・路面下空洞調査は

答 国の交付金などの状況に応じて検討する

議員 上下水道管の現況調査はどのような方法で実施しているのか。

市長 水道管は「路面音聴調査」と「相關調査」を実施している。「路面音聴調査」は、路面から漏水音を探知する調査で、「相關調査」は、2カ所の仕切弁に機器を設置しセンサーによって漏水を検出する調査。下水道管は目視または、テレビカメラを用いて管渠やマンホール検査を行っている。路面下空洞調査は、専用の車両で空洞の有無を調査している。近年では、令和4年度に実施している。

議員 調査の費用の現状は。

市長 水道管の調査に関しては、昨年度の費用は、751万7400円、下水道管の調査は、カメラ調査が1254万円、路面下空洞調査は、令和4年度で504万円。平成29年度、30年度に実施したものも合わせて2274

万円になっている。

議員 今後の維持管理や更新に関する計画は。

市長 上下水道施設の維持管理や更新は今後、耐震化計画を策定する予定。その計画に沿って実施していく。下水道施設の更新は平成28年度に策定した「古賀市下水道ストックマネジメント計画を令和6年度に改定しており、今後も当該計画に基づき、また路面下空洞調査は、国の交付金等の状況に応じて検討していきたい。

福岡市の道路陥没事故



大隈 慶太郎

児童・生徒の昼休みが短いのは差別ではないか

答 制度の趣旨が異なる。差別ではない

議員 昼休みの短縮により、子どもたちに困り事や弊害は生じていないか。

教育長 特に困り事や弊害はない。

議員 市内の多くの勤労者は、45分の昼休み。子どもたちの昼休みが15分短いのは差別ではないか。

教育長 法的根拠は制度の趣旨が異なるため差別でない。

議員 子どもたちは、子どもの権利条約やこども基本法等で、より一層擁護される存在。45分でも30分でも同様の効果があるのか。

教育長 同様の効果があると思う。

議員 学校において昼休みは誰のものか。

教育長 教職員と子どもたちのもの。

議員 昼休みを短縮する際、子どもたちにアンケートをとった学校はあるか。

教育長 聞き及んでいない。

議員 子どもの権利条約は、子どもの意見表明権を保障している。短縮についての保護者への説明は。

古賀中学校の昼休み

5月体育会後の金曜日	
時制上の昼休み時間 13:20~13:50	
13:26	三年生の男子が6人サッカーを始め、徐々に増え50人程度に
13:40	予鈴 子どもたちは校舎へ
実質の休み 14分間	
13:50までは、5時間目の準備	
4階の一年生は姿も見えない	

議員 熱中症対策と説明した学校があった。通年の熱中症対策なのか。(図 古賀中学校の昼休み) 再検討の機会は設けるか。

教育長 休み時間確保の工夫をするよう学校長に伝える。

議員 校舎4階の中学新1年生の声を紹介します。「(昼休み)遊んでみたい。」震えました。一生忘れない言葉です。



森 真希
(山海会)

市民に親しまれ利用される公園の整備を

答 念頭に置き、考えたい

議員 公園再整備についてのアンケート結果では、10代は4人で、小学生の意見はない。子どもたちの意見を聞き取る場が必要ではないか。

市長 取り入れる場を設けたい。

議員 市民グラウンドも整理統合する方向だが、舗装せずグラウンドとしての機能を残すよう検討していただきたい。

市長 意見として受け止める。

議員 プレーパークのような空間を創出するという答弁があつたが、どのような検討がされているか。

市長 しっかり実施できるような環境をつくることを念頭に置いて進めたい。

議員 公園の防災機能も必要。リーパースプラザがも含め検討しては。

市長 臨機応変に対応する。

未来につなぐ平和行政を

議員 戦争に関連した資料展示はどのくらいか。

教育部長 展示資料数は500点ほど、戦後80年の本年は7月19日から9月まで、青柳村兵事文書などの資料を中心に企画展を開催する予定。

議員 歴史資料館の展示資料活用について、説明が聞けるようにしては。

教育部長 今後、歴史資料館のリニューアルを行う際などに検討したい。

議員 平和市長会議の署名促進に二次元コードつきの懸垂幕を検討していただきたい。

総務部長 イベントの際、二次元コード付きパネルの展示をしたい。

千鳥ヶ池公園 プレーパーク



大賀 文子
(山海会)

男女平等の社会をめざそう

答 福岡県との連携強化を図る

議員 令和6年、困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が施行された。福岡県は基本計画を策定し、市町村に連携を呼びかけている。

古賀市の女性支援の現状は。

市長 女性をはじめ、多様な悩みを抱えた人に寄り添うさまざまな相談窓口を設置し、ジェンダー平等をめざした啓発も行っている。

議員 基本計画の策定が必要では。

市長 法の基本理念にのっとり、古賀市男女共同参画計画の見直しを1年前倒しで審議会に諮問した。

議員 女性相談支援員を配置しては。必要に応じて配置を検討する。

市長 福岡県との連携は。

議員 県の相談窓口の案内や、福岡県ジェンダー平等フォーラムなどで連携強化を図っていく。

議員 相談窓口の情報は多いほど良い。公式ホームページを、目次から記事へジャンプ、相談先の

電話番号を直通にする、県の支援事業所のリンクを貼るなど、相談者が支援を受けやすくするための検討は可能か。

経営戦略課長 より良い、見やすいホームページ作成のため鋭意研究したい。

主権者意識と投票率向上の取り組み

選挙管理委員会委員長 有権者に、不在者投票の交付申請をLINEで行う。若年者に、明るい選挙ポスターコンクールや生徒会に投票箱の貸し出しなどを行っていく。今後も、多様な手段で投票率向上に努める。

「子ども・若者相談室」サンコスモ古賀





紙谷 由香
(市民クラブ)

これから10年先の古賀市を見据えて

答

既存、新コミュニティを公としてサポート

議員

人口増の目標と、その具体策をどのように考えているのか。

市長

第5次総合計画基本構想で示している6万人を想定。具体策としては、子育て世代にとって魅力的なまちづくりや、企業立地による税収の確保と雇用の創出などを考えている。

議員

教育環境の整備計画はどうか。

市長

予想される児童生徒数の推計などを基に、人口増に十分対応できる整備計画を整える。

議員

高齢者や生活弱者への生活支援、公共交通の充実や移動の支援は。

市長

介護予防活動の推進や地域の集いの場への参加支援、地域包括支援センターによる一人ひとりに応じた相談対応を行い、安心した生活の確保につながる支援を行っている。

ひとり親家庭への支援強化を

議員

ひとり親家庭への支援の状況と周知は。

開発が進み変化する地域



古賀 誠視
(市民クラブ)

県が進めるまごころ駐車場の取り組みは

答

22の市の施設・46区画で登録を実施

議員

障がい者や高齢者、妊産婦などが利用でき、県が進めるまごころ駐車場制度の取り組み状況は。

保健福祉部長

ふくおかまごころ駐車場として登録された商業施設や公共施設等に、安心して駐車できるように支援する制度で、本市では制度の趣旨に賛同して、市内22の施設46区画でまごころ駐車場の登録を実施。

議員

リーパスプラザこがの利用用途の見直しやリニールなどの施設改修計画、古賀市立体育館の設置場所が千鳥ヶ池グラウンドと示されたが、障がい者や高齢者にも見て楽しむスポーツもあると思うので、自ら運転される車椅子使用の障がい者や高齢者、妊産婦に利用しやすい屋根つき駐車場の設置を進めるべきだ。

市長

新たに整備する市民体育館やリーパスプラザこがのリニールなど、施設改修の際に検討

議員

を進めていきたい。

市長

日吉地区にドラッグストアが開店を迎えるが、信号機がなく高齢者の横断が予想される。事故が起きる前に信号機、横断歩道設置の取り組みを強化してほしい。

議員

国道495号線の道路状況の変化も踏まえ、県警・県議の力をかり、地域の声として伝える。

市長

鹿部浜海岸の一部の松が枯れ、砂の流失や浸食が進んでいるが、県とも強い連携を図り、大学等の研究機関も含め、ともに対策を講じていく。

障がい者などが利用できるまごころ駐車場





伊藤 康義
(自由クラブ)

中小企業・個人事業主への経済対策、支援策の底上げ

答 企業効率化・生産性向上を後押しする底上げを図る

議員 地域振興の「こがpay」だが、小規模店舗への売上構成比の拡大策や新規参加店の拡大策を行い、もつといいものにすべき。

市長 商工会と連携をとり、加盟店舗の周知に努める。

議員 地元事業者が元気でなければ、街の活気は上がらない。市民と事業者が共に賑わい、潤う事が大事。もつと良いものにしていく必要があり、市もしっかりと受け止め改善すべき。

市長 制度面もあるので、議員の提案をふまえ商工会と協議する。

議員 事業者支援は、物価高騰であえぐ事業者にとってありがたいが、支援対象となる事業を吟味し、継続支援の検討が必要。また、開発ラッシュに誘致企業が増える事を踏まえた本市独自支援策は、支援を普遍化するには、財源の問題があるので、今後の政策検討に生かしたい。地方都市で働

毎月1回の事業者のお悩み事情聞き取り



く人を減らさないためにも事業者と共に考えるテーマ。本市では事業者の高齢化に対し、事業承継の在り方を強化する必要がある、北九州市の取り組みは参考になる。商工政策課を中心に発信力や仕掛けの面でも学び参考にする。

議員 市政施行30周年に向けて、花火大会の復活はどうか。

市長 良いタイミングであるが、事故被害者の気持ちもくんだうえで、市民、事業者、企業が一体となり行う、そんな光景はすてきだと思う。



秋山 隆哉
(自由クラブ)

防災に特化した防災担当室を創設しては

答 組織強化の提案を受け止め検討する

議員 新編成により動き出した消防団の現状は。

市長 一般団員232人、機能別団員38人、合計270人となっており、令和6年4月2日時点の団員数248人と比べて増加をしている。

議員 災害時に団員に届くメールに水利データを添付するという提案をしていたが、現状はどうか。

市長 情報システムである古賀マップに、新たに水利データを公開して、火災時にはスマートフォンで確認できるよう、現在準備を進めている。

議員 止水板による浸水対策をどう考えるか。

市長 止水板の設置補助については、大雨の浸水対策の一つとして効果があることは承知している。狭い道路で設置された場合、設置できない住宅への水が

多くなり、そこへの影響が懸念されることで、導入に対しては検討の段階でとどまっている。

議員 さまざまな災害にスピーディーかつ適切に対応することが、公助の果たす責務であると考え、防災に特化した防災担当室を創設してはどうか。

市長 災害等に対しての対応力強化、ということで公助が強化される動きがある。危機管理のさまざまなことに対応していく上で、組織体制というのは重要だと認識しており、提案を受け止め検討する。

新しい分団での凛々しい法被姿





村松 謙二
(切磋琢磨)

自治会に消防協力を依頼する行為は違法か

消防団と分団は別物と認識している

議員

住民の素朴な疑問と不安の声を届ける。「消防協助力金ってなぜ払うの、額は誰が決めるの、何に使われているか分からない」。事前に質問の趣旨を通告したが、実態を把握したか。

総務部長

把握していない。

議員

分団が、自治会から協助力金、寄附金を受け取り、運用している。地方財政法第4条の5には、「地方公共団体は住民に対し、寄附金を割当てて徴収してはならない」とあるが、実際に1世帯いくらかという形で自治会に割当てて依頼している、問題では。

総務部長

地域が分団に支払っているのは、活動の対価であり、協力費である。

議員

ある分団の会計資料によると、歳出の内訳は、格納庫備品の購入費、消防車両・小型ポンプ燃料費、ホースなど、ほとんどの経費が、市が予算化しなければ

ならない消防事務費でないか。

総務部長

もしかしたら、市から支払った出動手当等が一部入っているかもしれないので、その辺は読みとれない。

議員

実態を把握していないのに、答弁ができるのか。自治会が恒常的に資金を拠出し、それを市が関与しない形で消防事務費に使われている、これは重大な問題だ。

総務部長

各分団がその地域の行事で使っていると推測する。

議員

市長に問うても部長答弁ばかり。

ある分団の会計報告書の一部

科目	予算	支出済	備考
光熱費	100,000	91,247	格納庫の光熱費
燃料費	30,000	22,230	消防車両・小型ポンプ燃料費
負担金	100,000	47,700	分団長会に対する負担金
備品費	270,000	319,786	ホース、格納庫備品
消耗品費	70,000	18,841	手袋等
食料費	230,000	243,257	災害出動時、訓練及び夜警での食料・飲料
予備費	188,982	63,160	テレビアンテナ修繕など
歳出合計	988,982	806,221	ほとんどが消防費に、市が予算化すべきでは



今井 公一

市民が喜ぶ体育館の移転に

ワークショップも実施し市民の意見聞く

議員

市民が喜ぶ体育館の移転となるようワークショップの開催を。

市長

市民の意見を反映させることは重要。関係施設への意見箱の設置や市公式LINEによる市民アンケートで要望を聞く。ワークショップについても実施する予定。

議員

米不足はコロナ禍に匹敵する重大な事態。価格高騰対策、他自治体の取り組みも参考に、チルドレンファースト古賀市として子育て世帯支援や農業支援、医療・介護事業所支援が早急に必要。地産・地消の取り組み強化を。

市長

米不足は需要と供給のバランスの問題と認識している。18歳までの医療費無償化を行っているので独自財政を投入していることになるのではないか。

議員

米不足は政府による減反・減産が背景にあるとも言われている。資材購入など一部補助でな

く抜本的支援策が必要。せめて子どもたちには古賀のお米や野菜を安心して食べさせたい。

市長

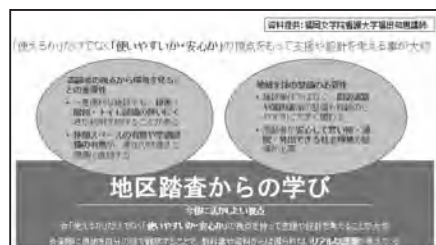
農業者が安定して営農ができる土地を確保していくことは重要な責務。農業振興の観点から農業者への個別支援で地産・地消、踏ん張ってさらに推進して広げていきたい。

議員

西鉄宮地岳線跡地は市民の共有財産、税金を使う事業。福岡市のコミュニティ道路を参考に。地域の皆さまと意見交換を続けていきたい。

市長

大切な視点「使いやすいか・安心か」





平木 尚子
(公明党)

公共交通の今後の考えは

答 地域の実情にあったあり方を深めていく

議員 基幹交通の現状について減便になった理由と対策は。

総務部長 運転手不足で、これまでのバス路線を維持していくための社会基盤が縮小している。利用が少ない便については減便。運転手不足の解消に向け、今年度、2種免許取得制度を開始している。

議員 「コガバス」の「のーと」が運行している地域の状況や、運行するルートや地域が設定されたいきさつは。

総務部長 「コガバス」は市内公共交通施設へのアクセス手段の確保と停留所の空白のカバー。「のーと」は一定の利用が見込まれる地域で利便性、持続可能性等を考慮した上でエリアを設定。

議員 おでかけタクシーを利用できない地域や条件などはあるか。

総務部長 公共交通の活用や移動の困難さ等を聞き取りし、協議しながら、制度構築の支援をする。

議員 地元区での相談や申請につなぐためには。

総務部長 生活支援コーディネーターとも情報共有しながら、地元区等の相談や申請につながるように、区長さんたちに働きかけて取り組みを進めていければと考えている。

带状疱疹ワクチンの補助拡大を

議員 今年度対象にならなかった人に対して接種できる枠は。

市長 国の動向など参考に慎重に検討。

※その他の質問

みんなでつながる地域づくりの推進

市内を走る「コガバス」



奴間 健司
(友和)

お産ができる病院存続も政治行政の責任

答 市内病院の意見を聞きながら対応を考える

議員 少子化が産婦人科に及ぼす影響をどう認識するか。

市長 多くの施設が経営難や存続危機に瀕している。国は医療機関連携、集約化、重点化など支援策を掲げている。本市周辺は恵まれている。今後も子育て世代に選ばれる街をめざす。

議員 分娩できる病院存続も政治行政の責任。市としてできることはないか。

市長 市内病院の意見を聴きながら対応を考えたい。議員の提案もお聞かせ願いたい。

議員 地域医療と市民を結ぶ会として産婦人科病院の現場の声を聞くフォーラムを開催する。市としても関わってほしい。

市長 いろんな主体が集まって話をする場づくりに感謝。結果を伝えていただくことを期待する。

県独自の保育料負担軽減

議員 県は第3子以降の保育料無償化

市長 を進めるがどう対応するか。前向きに検討したい。

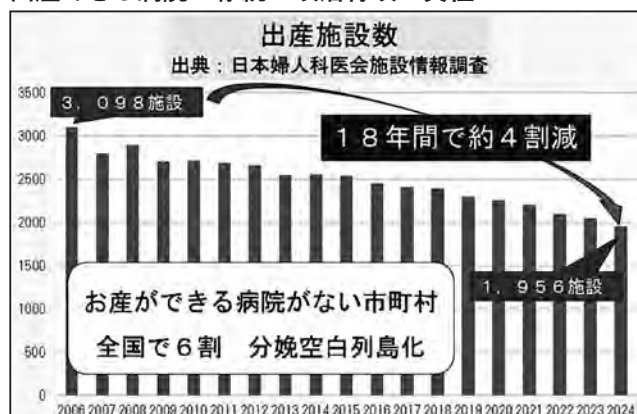
議員 補助率は2分の1だが。

保健福祉部長 対象は大体60人。金額は1千万円程度なので市の持ち出しは500万円程度と考える。

議員 県の制度に乗った上で市独自に第2子以降無償化に踏み切ってほしい。

市長 意見として受け止める。

出産できる病院の存続 政治行政の責任





秋吉 智紀
(切磋琢磨)

制度疲労！こがpayの拡充を！

答 改善すべきものは改善していく

議員

こがpayの目的は、キャッシュレス決済の普及と消費喚起を図ることにより、物価高騰の影響を受けている市内の消費に後押しし、地域経済の活性化につなげることで答弁があった。6843人が、こがpayに申し込んだにもかかわらず、およそ半数しか購入できていない状態は、目的に合致しているのか。

建設産業部長

予算の範囲内で実施した。

議員

こがpayの財源内訳は、プレミアム額のうち50%は県負担、45%は市負担、5%は商工会負担となっている。販売額を増加し、県の予算をとりに行く方が、古賀市にとってメリットがあるのではないのか。

市長

市および商工会の負担が増えるので、全体の調整が必要。

議員

他自治体では、商工会の負担は設定していない。経緯は。

建設産業部長

長年の協議の結果。

議員

負担割合を変更してはどうか。次に参加する事業者が10%ずつ減少しているのはなぜか。

建設産業部長

利用されなかった店舗が次年度登録しなかった。

議員

こがpayの制度設計を見直すべき。①全店舗と中小企業向けで券種分け②商工会会員だけでなく、古賀市の店舗が使えるように③使用できる期間の延長④販売額の増額。

市長

改善すべきものは改善していく。

各数値が悪化していることに注視せよ

	販売額 (億円)	申込者 (人)	購入者 (人)	購入できた率 (購入者/申込者)	決済回数 (回)	1回あたりの決済額 (円/回)	参加した事業者 (社)	商工会 会員数 (社)
2022年	2.4	3,833	3,833	100%	80,640	2,976	133	1,033
2023年	1.5	3,832	2,340	61%	49,936	3,004	120	1,023
2024年	1.5	6,843	3,546	52%	72,992	2,055	111	1,016

※前年度よりゾーニング数値



中野 敦史
(自由クラブ)

循環型社会の構築に向けた取り組みを

答 エネルギーの地産地消をやっていく

議員

森林環境譲与税を活用し、竹林整備を行う事業主体を少しでも増やすための検討は。

建設産業部長

事業の見極めがまだできていないが、引き続き具体化に向けて進んでいきたい。

議員

無限の資源である、竹の有効活用には早急な対応をお願いしたい。

市長

見える形で一歩動き出す形に持っていきたい。提案いただいたものを含め検討していく。

議員

環境教育の視点から、資源として有効活用できる家庭から出る廃食用油の回収拠点を、学校や公民館など拡充してはどうか。

市長

環境教育として、行政が何かやる事はすごく意義がある。

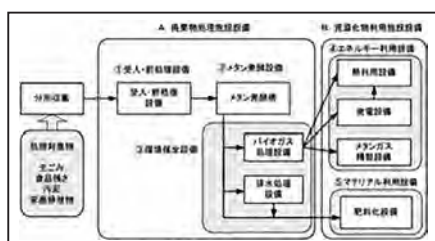
教育長

担当課と協議し、教職員に負担がかからない形で、前向きに考えていきたい。

議員

不要になった農業用遊休資産の有効活用のために、行政が行うマッチング事業を検討しては。

廃棄物を資源化のフロー（環境省HP）



総務

委員会

4月11日

委員長 平木 尚子 秋吉 智紀
副委員長 松島 岩太
紙谷 由香 大賀 文子
森本 義征

シェアリングエコノミーの進捗状況

市役所来庁者駐車場の有料化について、公共施設等総合管理計画およびアクションプラン見直しの検討について、窓口短縮に伴う電話自動音声案内システム導入についての報告がありました。

問 カーシェアリングの具体的な内容は。

答 運営は委託とし、新たにEV車を導入予定。日中の9時から17時は公用車として使用し、それ以外の時間は市民が利用できることを想定。また、要望が増えればEV車台数の拡充を検討し、既存の公用車の削減も視野に入れている。



管財課

古賀市の防災体制

古賀市消防団の新体制、9個分団18部体制。一般団員と機能別団員での始動について、粕屋警察署が中心となり粕屋地区1市7町および防災関係機関と平時からの連携体制を構築する「粕屋地区合同災害対策連絡会議」の発足についての報告がありました。

総務課

地域活性化に向けて

自治会統合型交付金について、本年度から従来の「20人以上の分館教養学級」に加えて「10人以上19人以下人数学級」を創設。補助金は1学級あたり2万円を交付し進めていくとの報告がありました。

まちづくり推進課

古賀市内バス

公共交通について

課内の業務分担変更について、古賀市みらい創生インターシップ事業の実施についての報告がありました。

問 市内西鉄バスの運行状況について。

答 古賀市内4路線全て4月1日から90便程度から70便程度に減便した。

問 「のるーと」の運行体制について。

答 令和7年4月より2台から1台に減便。行政区への事前説明も実施。現時点で大きな待ち時間や苦情はなく今後の利用状況を注視し、必要な見直しは随時行う。

問 コガバス小竹線の利用状況と課題は。

答 利用者数が大幅に増加しているが、定員オーバーは発生していない。小竹区や青柳区で周知・説明を実施。

問 市内西鉄バスの運行状況について。

答 古賀市内4路線全て4月1日から90便程度から70便程度に減便した。

問 「のるーと」の運行体制について。

答 令和7年4月より2台から1台に減便。行政区への事前説明も実施。現時点で大きな待ち時間や苦情はなく今後の利用状況を注視し、必要な見直しは随時行う。

問 コガバス小竹線の利用状況と課題は。

答 利用者数が大幅に増加しているが、定員オーバーは発生していない。小竹区や青柳区で周知・説明を実施。

問 市内西鉄バスの運行状況について。

答 古賀市内4路線全て4月1日から90便程度から70便程度に減便した。

問 「のるーと」の運行体制について。

答 令和7年4月より2台から1台に減便。行政区への事前説明も実施。現時点で大きな待ち時間や苦情はなく今後の利用状況を注視し、必要な見直しは随時行う。

問 コガバス小竹線の利用状況と課題は。

答 利用者数が大幅に増加しているが、定員オーバーは発生していない。小竹区や青柳区で周知・説明を実施。

問 市内西鉄バスの運行状況について。

答 古賀市内4路線全て4月1日から90便程度から70便程度に減便した。

問 「のるーと」の運行体制について。

答 令和7年4月より2台から1台に減便。行政区への事前説明も実施。現時点で大きな待ち時間や苦情はなく今後の利用状況を注視し、必要な見直しは随時行う。

問 コガバス小竹線の利用状況と課題は。

答 利用者数が大幅に増加しているが、定員オーバーは発生していない。小竹区や青柳区で周知・説明を実施。

経営戦略課

行政サービスの質の向上

行政組織機構等について、教育部の文化課に市史編さん室を設置。古賀市特定事業主行動計画について、古賀市障がい者活躍推進計画についての説明がありました。

問 女性管理職が増えない理由は。

答 管理職向けに意識改革研修を実施することで、管理職層の意識を変革し女性及管理職として活躍できるよう取り組み、課としても連携できる女性管理職登用の取り組みの普及は今後の検討課題。

問 職員のスキルアップに向けた研修のあり方について。

答 ゼネラリストという普遍的な職務能力向上を目的とした研修を段階的に実施している。スペシャリストのスキルアップについては、各課の要望に応じて先進地視察や宿泊を含む、外部専門研修の予算も確保している。

人事秘書課

文教厚生

委員会

4月24日
5月 2日

委員長 森 真希
古賀 誠視
副委員長 大隈 慶太郎
今井 公一 奴間 健司
秋山 隆哉

インクルーシブ教育

問 特別支援学級の児童生徒の増加に伴い、人的配置や教室など施設面での課題が大きくなっているが、今後の特別支援教育やインクルーシブ教育の進め方は。

答 古賀市では県内に先駆けて通級指導教室の自校方式を進めている。これがインクルーシブ教育に最も近い形であり、最良の方法。先進的な取り組みを行っている。



学校教育課

企画展「戦争とくらし」

文化芸術振興、公共施設美術展示、歴史資料館事業、令和7年度 市史編さん事業、船原古墳関係事業、図書館事業について等の報告がありました。

問 毎年12月に開催されていた「戦争とくらし」の日程を変更した理由と新たな取り組みは。

答 企画展「戦争とくらし」は、終戦80年を記念し、例年12月に実施していた同展示を夏季に前倒しして開催するもの。子どもれきし体験パスポートでは企画展に関連したクイズを出題し、図書館での戦争と平和に関する書籍の特集展示など、関連事業も連携して実施し、平和の視点から自らに何ができるかを考える契機となるよう工夫した。

文化課

病児保育・

こども誰でも通園制度

子育て支援事業、母子保健事業、こども誰でも通園制度は令和7年7月の開始を予定しており、現時点では6力所の施設において、認可等の手続きを進めている等の報告がありました。

問 病児保育で受入れを断った件数は381件、充実させるために引き続き研究・調査していただきたい。

答 常時困難な状況ではないが、インフルエンザ等の感染症流行期には対応が困難となっている。近隣自治体との連携を含めた広域的な対応を行っていきたい。

問 こども誰でも通園制度について、新たな初期投資が必要となるのか、また、正式な利用料金はいくらか。

答 保育士の増員や施設整備は予定しておらず、既存の体制で対応してもらう。なお、利用料金については、1時間あたり300円を基本としているが、最終的には各施設が設定する。

子ども家庭センター

常任委員会報告

古賀東中学校への視察

5月2日に古賀東中学校「大規模改造工事の令和6年度工事の完了について」の視察を行いました。

新設された民具や漂着物、書物などの展示・保管を予定している歴史資料館分館・バリアフリーな地域開放室・毎月第4日曜日に開催されるリユース室・考古学図書室・PTCA室・みんなのトイレなどを視察しました。



教育総務課

市民建産

委員会

4月21日
28日

委員長 中野 敦史
副委員長 井之上 豊
委員 結城 弘明
村松 謙二
福岡 トビオ
伊藤 康義

環境問題に関し

近隣で取り組む

第3次古賀市環境基本計画
前期実施計画の策定、再生利
用業の指定状況、海津木苑の
3階廊下セラミックタイルの
隆起等の報告がありました。

問 発火や爆発の事例が多数
見られるリチウムイオン
電池の分別回収は。

答 古賀清掃工場と福津市、
新宮町、古賀市で、今後
の取り扱い方について、
次年度を目途に統一見解
を出す議論を進めている。

問 海津木苑のセラミックタ
イル隆起の原因は。

答 伸縮を吸収する伸縮目地
がなかったため、貼付け
モルタルが乾燥、収縮等
をした際に、隆起が発生
したのではないかと考え
られる。

環 境 課

人口減少 その影響は

令和7年3月末の総人口、
外国人国籍別人口、個人番号
カード交付枚数、国民健康保
険被保険者数の状況、国保税
率改定等の報告がありました。

問 国保加入者が減少してい
るが、古賀市の国保運営
への影響は。

答 被保険者数の減少により、
国民健康保険税としての
収入の伸びは見込めない
状況。基金を取崩しなが
ら、国民健康保険税率の
調整に努めることが求め
られると考えている。



市民国保課

ふるさとにある

農地を見守る

有害鳥獣対策、動物緩衝林
整備、防風保安林保全、朝ど
りがスウィーツコーン祭、農
家直売！軽トラ市、農業用施
設管理、農業基盤整備促進、
防災力強化、農山漁村振興交
付金、農業委員会農地パトロ
ールによる遊休農地・違反転用
の調査結果について等の報告
がありました。

問 非農地判断面積が減少し
ている要因とその後の方
策は。

答 農業委員会では毎年行っ
ている農地パトロールの成
果が表れ、一旦落ち着いた
状況にあると思われる。
非農地と判断された後の
処置については、土地の
所有者に農地としての利
用や貸借に関する意向調
査を行っており、その調
査結果に基づき、貸借の
推進や市の職権における
地目変更の措置を講じて
いる。

農 林 振 興 課

暮らしの安全

令和5年住宅・土地統計調
査、古賀市公園再整備基本計
画(案)等の報告がありました。

問 耐震工事を促進するため
に取り組んでいることは。

答 1980年以前に建設さ
れた建物については、改
修、除却工事に対し補助
金を交付。耐震化率を上
げることが基本。

都 市 整 備 課

働くにつなげる

令和6年度古賀市消費生活
センター受付状況、創業支援
事業補助金、無料職業紹介所、
ふるさと応援寄附等の報告が
ありました。

問 無料職業紹介所の評価は。

答 求職・求人それぞれのニ
ーズに応じたマッチングを
大切にしながら事業を継
続させていきたい。

商 工 政 策 課

一緒に考える、

福岡女学院看護大学と地域踏査



と共に花鶴丘三丁目の周辺を地域踏査しました。子育てや高齢者の目線を想定し、現地の危険箇所や不便な点を実際に歩いて確認。議員も各班に同行して、地域の課題に関する学生の質問に答えたり、現地での学びを支援したりと、実践的な交流が行われました。

古賀市議会と福岡女学院看護大学は、2015年にパートナーシップ協定を締結して以来、さまざまな取り組みを行ってまいりました。今回10回目の開催で、地域踏査＆発表会といった新たな取り組みとなりました。



その後、6月17日には、学生たちが踏査の結果をグループごとにまとめ、発表



しました。「手すりを持ちにくいのではないかな」「健康づくりや交流の場としての活用が充分ではない」「幼稚園前の歩道がせまい」といった、忌憚^{きたん}のない意見によって、地域課題がいくつも見つかり、有意義な時間となりました。発表後には、学生、地域住民、議員によるワークショップも行われ、課題解決に向けた多様な意見交換がなされました。このような看護大学と議会が共同して行う取り組みを、今後も継続し発展させていきたいと考えています。

令和7年 古賀市議会 第3回定例会会期日程（案）

会期 9月2日～9月30日 29日間

日曜	2火	4木	5金	8月	9火	10水	11木	12金	16火	18木	19金	22月	24水	25木	30火
会議名	本会議（初日）	本会議（2日目）	常任委員会	常任委員会	常任委員会	補正予算審査特別委員会	一般質問	一般質問	一般質問	決算審査特別委員会①	決算審査特別委員会②	決算審査特別委員会③	決算審査特別委員会④	決算審査特別委員会⑤	本会議（最終日）
開議時刻は全て9時30分～															

注）会期日程は、8月29日（金）の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。
 ◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。
 ◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。
 （本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です。）
 ◎請願書の締切りは8月27日（水）午後5時です。

第2回定例会の傍聴者は60人でした。ありがとうございました。

インターネットによる中継・録画配信も行っています。ご利用ください。



古賀市議会の中継・録画は

古賀市議会

またはQRコードで検索してください。



中継・録画

音声読み上げ版

※QRコードは㈱デンソーウェブの登録商標です。

バックナンバーの音声読み上げ版もあります。

もありません。



表紙の言葉

猛暑により、今年は夜にハマボウとランタンと夜空をみんなが楽しむイベントが開催。

編集後記

古賀市議会だよりも今期の制作が後半になりました。だんだんとチームに団結もできてきて、お互いに構成や校正にも、それぞれ意見をしっかりとと言えるようになり進んでいます。ただ、最近のデジタル化にも敏感になり、紙面も「これでいいのか」「もつとできることはないか」との意見も出るようになってきました。

これからも市民の皆さまに読んでいただける紙面づくりをめざし、研究し、頑張っていきます。（平木）

議会報編集常任委員会
 委員長 福岡トビオ
 副委員長 秋吉智紀
 委員 平木尚子
 紙谷由香
 森真希
 秋山隆哉

